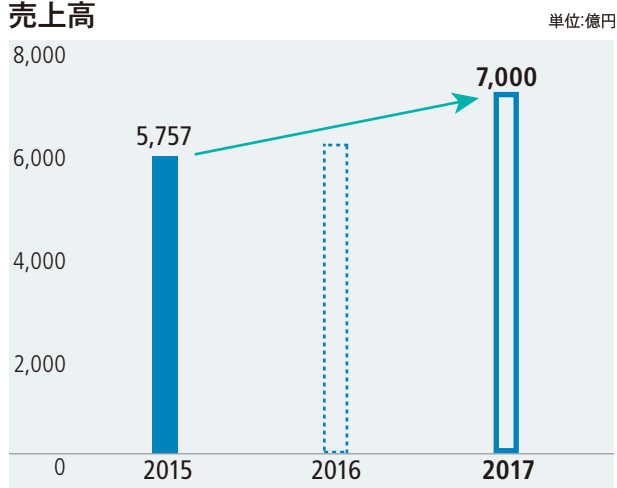


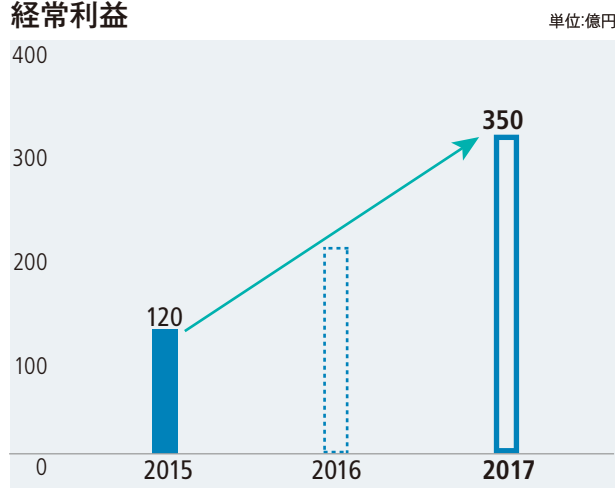
ビジョン達成への“基盤強化”と位置付けた 中期経営計画「Global Step I」に則り、 成長に向けた施策を着実に実行

中期経営計画の目標値に向けた推移

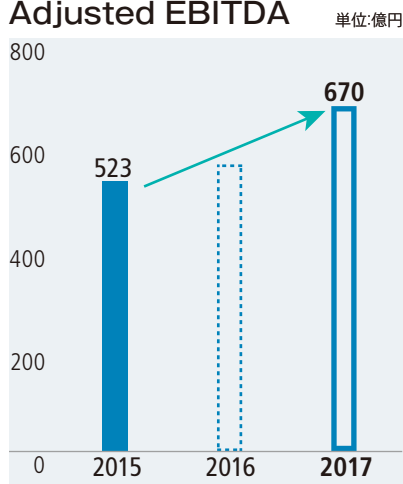
売上高



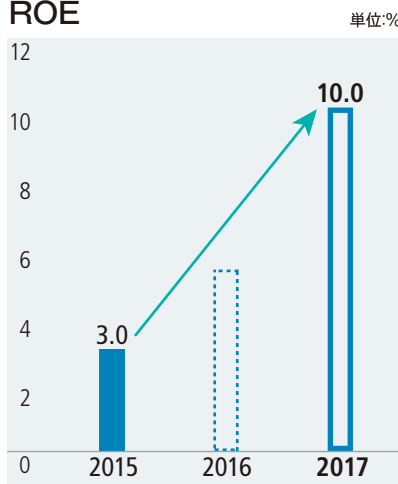
経常利益



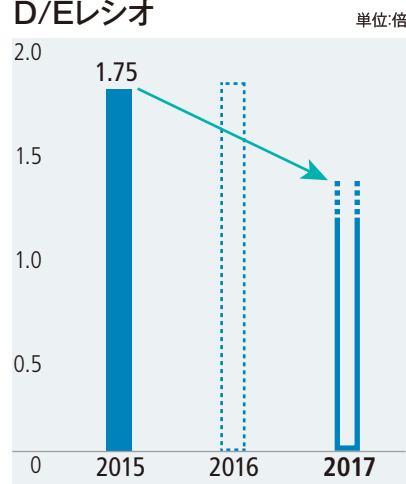
Adjusted EBITDA



ROE



D/Eレシオ



UACJグループは、2014年12月、グループ初となる中期経営計画「Global Step I」を策定しました。この計画では、2017年度までの3カ年を、「UACJグループの将来ビジョン」の達成に向けた「基盤強化」のステップと位置付けています。

2015年度は、この計画の初年度として、事業ごとに具体的な成長戦略を立案・実施しました。なかでも日本、タイ、米国を基軸としたグローバル体制の強化においては、各地で今後の成長に向けた基盤構築が進みました。この他にも、統合効果の発現や、新技術・新製品の開発、世界で活躍できる人材育成、戦略的な設備投資など、さまざまな施策を着実に推進

した1年となりました。

目標の進捗状況としては、国内工場の収益性が向上したことなどの統合効果により、経常利益やAdjusted EBITDA、ROEなど利益指標については概ね順調に進捗しています。一方で、D/Eレシオ、有利子負債の削減については、計画策定時には織り込んでいなかった投融資を積極的に実行したため、目標に対してやや遅れ気味です。

今後も、成長に向けた投資と財務体質のバランスをとりながら、成長戦略を推進していきます。

注：4月1日から3月31日までの事業期間を年度として定めています。2015年度は、2016年3月末で終了した事業年度を表します。

2015年度の主な成果

1
主な成果
北米で自動車用パネル材・構造材の
供給体制を確立

2
主な成果
タイのUATHラヨン製造所で
一貫生産が開始

3
主な成果
国内製造拠点の生産品種移管が
計画通り、約6割完了

4
主な成果
航空機用「新合金AA2013」の
開発で、日本アルミニウム協会
開発賞を受賞

2015年度の活動ハイライト

	4月	
	5月	メキシコで自動車部品製造会社を開業
	6月	
	7月	当社製軽量バンパーアセンブリーが新型「マツダロードスター」に採用
	8月	タイのUATHラヨン製造所で一貫生産開始
	9月	
	10月	北米のローガン工場で鋳造能力を含む板圧延能力の増強に向けた投資を実施
	11月	
	12月	加工品事業会社の再編を決定
	1月	ドイツに設立した自動車用熱交換器材の販売会社が営業開始
中国での販売体制の強化で自動車用のグローバル供給体制を確立	2月	北米における総括法人会社の設立を発表
北米の自動車用構造材・部品製造販売のリーディングカンパニーの買収を発表	3月	北米で自動車パネル材事業を担うConstellium-UACJ ABS LLCの事業拡大の検討開始